



株式会社ナックイメージテクノロジー
CREATIVE 制作営業部
2018年8月17日 SETEC63-008



アミーラ SUP 5.4
ソフトウェア・アップグレード・パッケージ SUP 5.4.13

リリースノート 日本語版

2018年8月17日

和訳・追記

株式会社 ナックイメージテクノロジー
営業本部 制作営業 1 部
〒107-0061
東京都港区北青山 2-11-3
03-3976-7901

目次

A. 概要	3
SUP 5.4 の新機能.....	3
以前のバージョンからの変更点.....	3
アップデートに関する注意点.....	3
ダウングレードに関する注意点.....	3
その他のソフトウェア	4
その他の注意点	4
B. SUP 5.4 の新機能	5
新型ビューファインダーパネルを搭載した MVF-1 のサポート	5
Master Grip のステータス表示	5
AMIRA Web Remote 経由でのオーディオチャンネル 1/2 の操作	5
REGEN モードにおけるタイムコード機能の変更	6
センターマークオプション “Small Cross”	6
C. 既知の問題.....	7
SUP 5.4 で解決された既知の問題	7
SUP 5.4 における既知の問題	7
アクセサリー	7
オーディオ	7
フレームグラブ	8
入力/出力	8
メディア	9
再生	9
収録	9
SUP アップデート	11
タイムコード	11
アップデート	11
ユーザビリティ	11
ビューファインダー	12
D. アップデート手順	14
ダウンロードおよび登録方法.....	14
ソフトウェア・アップデート・パッケージの取得	14
カメラのアップデート方法	14

A. 概要

AMIRA 全モデルに対応する AMIRA 用ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP) 5.4 がリリースされました。このバージョンで拡張される機能は以下に記載されています。

SUP 5.4 は多くの機能向上を含んでいるため、可及的速やかにアップグレードしていただくことを推奨いたします。

カメラをご利用になる前に本文書や“既知の問題”項をご一読ください。

オンラインカスタマーレジストレーションをまだ行っていない場合、下記の URL からお持ちのカメラをご登録してください。今後、ソフトウェアアップデートなどの最新情報を速やかにお送りいたします。

https://www.arri.com/login/register_alexa_amira_customers/

詳しい情報は、以下の URL からご覧いただけます。

<http://www.arri.com/amira>

よくある質問とその回答は、以下の URL からご覧いただけます。

http://www.arri.com/camera/amira/learn/learn_overview/

SUP 5.4 の新機能

- ・ **新型ビューファインダーパネルを搭載した MVF-1 のサポート**

シリアルナンバーが 4000 以降の AMIRA MVF-1 は新型 OLED ビューファインダーパネルを搭載しており、輝度を 120/200/300Nits から選択できます。

- ・ **Master Grip のステータス表示**
- ・ **AMIRA Web Remote 経由でのオーディオチャンネル 1/2 の操作**
- ・ **REGEN モードにおけるタイムコード機能の変更**
- ・ **センターマークオプション “Small Cross”**

以前のバージョンからの変更点

- ・ MENU > User buttons > Master Grips user buttons の名称を“LBUS device user buttons”に変更

アップデートに関する注意点

カメラの SUP は常に最新バージョンに更新し、新機能、改善点、バグフィックスを適用してください。ただし、作品の撮影中に新しい SUP をインストールすることは推奨しません。

アップデートプロセスの詳細は本文書に記載されています。

SUP 5.4 はビューファインダーを含む全てのコンポーネントに関するアップグレードなので、所要時間は従来に比べ大幅に増加しています。ファームウェアアップデート中はビューファインダーの電源が落ちるため進行状況を視覚的に確認できませんが、絶対にカメラの電源が落ちないように注意してください。

ダウングレードに関する注意点

SUP 5 から SUP 4 へのダウングレードは一度しかできません。SUP 5 にはハードウェアに関連するアップデートが含まれているため、SUP 4 が二度インストールできないよう制限されています。もし SUP 4 へのダウングレードが何らかの理由で失敗した場合、SUP 5 をインストールし直してから再度ダウングレードを行ってください。

以前の SUP バージョンにダウングレードするには、任意のライセンスファイル (amira_fw_update_aes_x.x.x.lic) を

USB メモリースティック内のディレクトリ/ARRI/AMIRA/LICENSES/に保存してください。

その他のソフトウェア

SUP 5.x をインストールしたカメラで、特にユーザピクセルマップやプロジェクトのカラー・マネジメントに HDR Look を使用する場合、バージョン 3.4.5 以前の ARRIRAW Converter (ARC) はバージョン 3.5 以降にアップデートしていくことを推奨します。Rec 2100 PQ や HLG などの HDR カラースペースは、旧バージョンの ARC では Rec 709 であると誤認識されるため、カラープロセッシングやエクスポートしたデータのカラースペースメタデータに誤りが発生する恐れがあります。

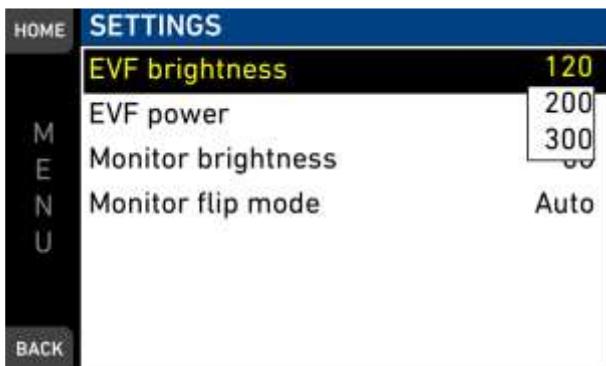
その他の注意点

以前の SUP のカメラで撮影したデータが入っている CFast 2.0 カードをカメラに挿入すると、カメラにエラーメッセージが表示されることがあります。このメッセージは、カメラでカードを ERASE した後に再度挿入すると解消されます。詳しくは、"C. 既知の問題" 章の "異なる SUP のデータが入った収録メディア" 項をご覧ください。

B. SUP 5.4 の新機能

新型ビューファインダーパネルを搭載した MVF-1 のサポート

シリアルナンバーが 4000 以降の AMIRA MVF-1 には、新型 OLED ビューファインダーパネルが搭載されています。新型ビューファインダーパネルは SUP 5.4 以降にのみ対応しており、それ以前のバージョンでは映像を表示できません。新しく補正されたパネルにより、輝度が 120/200/300Nits から選択できるようになりました（ファクトリーデフォルトは 120Nits）。EVF ガンマは従来のビューファインダーパネルにおける“Lifted”に相当する設定で固定されています。既存の MVF-1 にはこの変更による影響はなく、従来どおりの機能を継続してご利用いただけます。



MENU > Monitoring > EVF/Monitor > Settings > EVF brightness

Master Grip のステータス表示

ステータスインフォに表示されているレンズ軸（アイリス/フォーカス/焦点距離）のうち、いずれかが Master Grip に操作されているかが明示されるようになりました。Master Grip に操作権が移ると、そのレンズ軸は以下のように白く表示されます。

IRIS T 5.6 アイリスの操作権が Master Grip にない状態
IRIS T 5.6 アイリスの操作権が Master Grip にある状態

この表示方法は、Master Grip 1 台でフォーカスとアイリスを切り替えながら操作する際に有効です。

AMIRA Web Remote 経由でのオーディオチャンネル 1/2 の操作

AMIRA Web Remote (およびメイン UI)にオーディオのメニューが追加され、オーディオチャンネル 1/2 のゲインを操作できるようになりました。



MENU > Recording > Audio recording

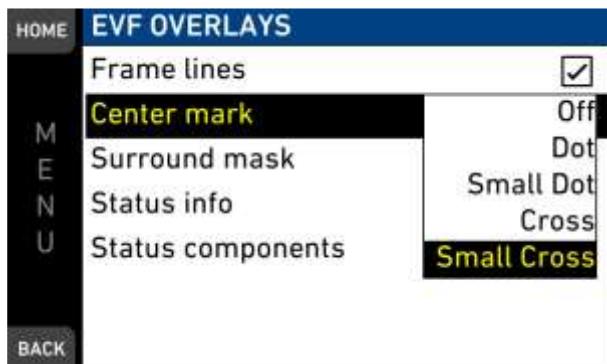
REGEN モードにおけるタイムコード機能の変更

REGEN モードにおいて、SMPTE 準拠のジェネレータとの互換性により断続的に警告が発生する問題に対応しました。SUP 5.0 以降のカメラでは、タイムコードソースが JAM Sync モードやチューニングにおいて正常に動作するよう、タイムコード信号を厳密に管理していました。今回、カメラのチューニングには合わない SMPTE 準拠のジェネレータをサポートするために、REGEN モードからこの管理機能が一部削除されています。その結果、一部のタイムコードに関連する警告が表示されなくなるため、カメラに適用されているタイムコード信号がプロジェクト設定に一致しているか、カメラオペレータ自身がより注意する必要があります。REGEN モードで表示されなくなる警告は以下のものです。

- “LTC In frame rate is incompatible with project frame rate”
(整数と非整数のフレームレートが混合している)
- “LTC In drop frame configuration mismatch”
(カメラとソースのドロップフレーム/ノンドロップフレームが一致していない)
※いずれの場合においても、“Timecode synchronization is required”という警告が表示されます。
- “LTC In frame rate differs from project rate”
(整数または非整数のフレームレートが混合している)

センターマークオプション “Small Cross”

EVF および SDI に表示できるセンターマークに、Small Cross が追加されました。



MENU > Monitoring > EVF/Monitor > EVF Overlays > Center mark

MENU > Monitoring > SDI > SDI processing > Overlays > Center mark

C. 既知の問題

SUP 5.4 で解決された既知の問題

- ARRIRAW 2.8K 収録モードでは、レンズデータのステータスインフォへの表示やメタデータへのエンベッドはありません。
- プロジェクトレートが 59.94p の ProRes クリップを再生する際に、SDI 出力やヘッドフォン出力でのオーディオ再生がノンリニアになることがあります。

SUP 5.4 における既知の問題

ここでは SUP 5.4 における既知の問題を列挙しています。

アクセサリー

- キヤノン B4 レンズ HJ18 のスタート/ストップ**

ARRI B4 マウント使用時にキヤノン HJ18 のケーブルが接続された状態でスタート/ストップ機能が動作しなかった場合、レンズの"Reset all"を実行してください。

- 再起動後の Bluetooth デバイス再接続**

一部のオーディオモニタリング用 Bluetooth デバイスは、カメラを再起動した際に再接続されない場合があります。再起動時には Bluetooth デバイスを手動で再接続してください。

オーディオ

- AES3 ソースが接続された状態でのバッテリー交換**

サウンドミキサー等の AES3 ソースが接続されている時にバッテリーを交換すると、オーディオ機能が正常に初期化されず、"Switch in undefined position"等のエラーが表示される事があります。この場合、カメラを再起動してください。カメラバッテリーを交換する前にサウンドミキサーの電源を落とすことで、この症状を防ぐことができます。オーディオアップティナータを接続している場合も同様の問題が発生する恐れがあります。詳しくは ARRI サービスセンターまでご連絡ください。

- カメラ電源をオフにする際のオーディオグリッチ**

カメラの電源をオフにする時に大きなオーディオグリッチが発生する場合があるため、ヘッドフォン着用時は注意してください。

- オーディオミキサーに接続されたヘッドフォン出力**

初期型の IAOU-1 オーディオボードを搭載したカメラで、オーディオ収録をモニタリングするためにミキサーをヘッドフォン出力に接続すると、オーディオボードを損傷する恐れがあります。これはヘッドフォン出力にのみ影響するため、ヘッドフォン出力の最大ボリューム低下を感じた場合、この問題が原因である可能性があります。詳しくは ARRI サービスセンターまでご連絡ください。この症状は新型オーディオボード(IAOU2)では発生しません。

フレームグラブ

- **ARRIRAW 再生時のフレームグラブ**

ARRIRAW 再生中にフレームグラブを行った場合、フレームのエッジ部分でピクセルの輝度が異なって表示されることがあります。

- **インタレースの S16 および HD クリップをポーズしている間はフレームグラブ不可**

フレームグラブを行う場合、再生中に行ってください。

入力/出力

- **EVF ズーム時では 1.3x アナモフィック・デスクイーズ使用不可**

1.3x アナモフィック・デスクイーズは EVF ズーム時の映像に反映されません。

- **UHD SDI 出力では 1.3x アナモフィック・デスクイーズ使用不可**

1.3x アナモフィック・デスクイーズは 422 6G/DL 422 6G/422 3G DL の UHD SDI 出力映像に反映されません。

- **SDI 出力がクローンモードである場合のリターン表示**

SDI 出力がクローンモードである場合、リターンイン映像への切り替え時に一瞬信号が失われることがあります。

- **3.2K 収録モードでの 1.3x アナモフィック・デスクイーズモニタリング**

3.2K 収録モードでアナモフィック・デスクイーズを使用した場合、EVF/SDI 出力にスケーリングアーティファクトが表示されることがあります。これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **DL 6G HD-SDI 出力**

DL 422 6G SDI 出力で最大のパフォーマンスを得るために、SDI ボードを最新の IOAX Rev.H にアップグレードしていただくことを推奨します。アップグレードの詳細に関しては株式会社 ナックイメージテクノロジーまでお問い合わせください。

- **MPEG-2 モードでは psf またはインタレースのリターンが使用できない**

カメラが MPEG-2 モードに設定されている場合、psf またはインタレースのリターン信号は使用できません。

- **同期ソース接続時に SDI 出力が一瞬失われる**

Genlock やタイムコードソースに接続する際に、SDI 出力には再同期がかかるため、一瞬出力が失われることがあります。

- **6G に設定する際に SDI 出力が一瞬失われる**

SDI 出力を 6G に、または 6G から別のフォーマットに変更する際に、両方の SDI 出力が一瞬失われることがあります。

- **タイムコード同期を使った際の SDI 出力**

同期ソースとしてタイムコードを使用した場合、SDI 出力がソースに完全に同期しないことがあります。この場合、3 値

同期の Genlock 信号を使用してください。

- **SDI/EVF にオーバーレイがある場合のリターン表示**

SDI/EVF にオーバーレイ表示が行われている場合、リターンイン映像への切り替えがすぐに行われないことがあります。

メディア

- **CFast 2.0 カードのクロスプラットフォームフォーマット問題への対策**

他社製のカメラで CFast 2.0 カードをフォーマットした際に、スキームの違いにより問題が発生することへの対策として、収録に使用できる CFast 2.0 カードは、SUP 4.0 以降の ALEXA Mini または AMIRA で ERASE を行ったものに限定されます。

再生

- **再生モードが"play next clip"の際に 50i/59.94i のクリップがスキップされる**

再生モードが"play next clip"の際に、プロジェクトレートが 50i/59.94i である複数のクリップを再生した場合、連続で再生されずクリップがスキップされることがあります。

- **再生モードを起動してもピーキングは解除されない**

再生中にピーキングを表示したくない場合は、手動でピーキングを解除してください。

- **ポーズ時に、インタースのクリップは縦の解像度が半分しか表示されない**

これは SDI 再生映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **SDI 出力がインタースに設定されていない場合、インタース映像に縦方向のジッターが発生する**

これは SDI 再生映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。60i のクリップを再生するときは SDI 出力を 60i にするなど、SDI 設定をプロジェクト設定と一致させてください。

- **HDR Look が焼きこまれたクリップは MVF/EVF で正しく表示されない**

HDR Look が焼きこまれたクリップを再生した場合でも、HDR に対応しておらず、トーンマッピングが行われていない MVF および EVF では正しく表示されません。これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。いずれにせよ、HDR 撮影の際に Look を焼き込むことは一般的に推奨しておりません。

収録

- **CFast 2.0 カードへ書き込み中の電力喪失**

カメラが CFast 2.0 カードへ書き込んでいる際にカードを取り出すかカメラの電力が喪失した場合、カードを再度フォーマットしてください。カード自身やその後の収録に悪影響を及ぼさないよう、カメラに表示されるエラーと警告メッセージに従ってください。詳しい情報や他の問題が発生した場合は ARRI サービスセンターまでご連絡ください。

- **MPEG 2 収録モードでの残り時間表示**

MPEG 2 収録モードでは、カメラ上の収録可能時間が実際の収録時間よりも短く表示されることがあります。

- **SanDisk CFast 2.0 カード 120GB/60GB での収録エラー**

非常に稀に、SanDisk CFast 2.0 カード 120GB/60GB を使用している際に“Write failure on recording card (Slot A)”と表示され収録が失敗することがあります。

- **映像の垂直ミラーリングをメタデータに保存**

ミラーリング情報は Quicktime ファイルのメタデータに保存されます。MPEG-2 HD MXF ファイルのメタデータにはミラーリング情報は保存されないため、カメラ外部で再生される際には収録した通りに表示されます。

- **最大クリップサイズに対するエラーメッセージ**

非常に稀に、カメラが収録を停止して "Recording stopped - maximum clip size reached" というメッセージが表示されることがあります。これは ProRes LT などのデータレートの低いコーデックでディテールが非常に少ない映像を収録した場合に発生します。

- **CFast 2.0 カードのリール数制限**

1 枚の CFast 2.0 カードに収録できる最大リール数は、ProRes/ARRIRAW MXF の場合 15 リール、MPEG-2HD 422 の場合 2 リールです。リール数が最大に達した場合、リールの追加はできませんが映像の収録は可能です。

- **MPEG または ARRIRAW 再生モードからの収録**

MPEG または ARRIRAW 再生モードから直接収録を開始しようとすると、"Recording stopped due to FPGA failure. Please reboot camera." というエラーメッセージが表示されることがあります。収録前には必ず再生モードから戻ってください。

- **再生モードからの収録**

再生モードから直接収録を開始できないことがあります。この場合、再度 REC ボタンを押してください。

- **Noise Reduction の“Strong”設定**

S16HD/3.2K 4:3/2.8K/4K UHD モードで Noise Reduction を“Strong”に設定した場合、素早く移動する被写体にアーティファクトが発生する恐れがあります。事前にテストすることを推奨します。

- **HD-SDI 出力が 2K に設定された場合のダウ NSケール収録**

2K 解像度を HD にダウ NSケールした収録では、収録された映像の画質はモニタリングには最適ですが、マスターレコードとしては不十分である場合があります。HD-SDI 収録をマスターレコードにする場合、収録フォーマットを HD に設定してください。

- **インターバル収録中の残り時間誤表示**

大容量の CFast 2.0 カードを使用した場合、インターバル収録時に収録可能時間が誤って表示されることがあります。

- **高温環境におけるスロット B の SanDisk CFast カード 120GB/128GB への高データレート収録**

40°C(104°F)を超える高温環境において、カメラのカードスロット B に挿入した SanDisk CFast カード 120GB/128GB

に ProRes 4444 で 200 fps 等の高フレームレートで収録した場合、収録の最大時間が制限される場合があります。この条件下で長時間収録する場合は、カードスロット A をご利用ください。

- **収録中の感度・ホワイトバランスの変更**

収録中に感度 (Exposure Index) やホワイトバランス (White Balance) を変更した場合、1 つのフレームの中で 2 種類の映像が競合する場合があります。

- **ARRI_UDF システムではない CFast カードでもフォーマットを促されない**

MVF ディスプレイがライブビューになっている場合、カメラは CFast カードをフォーマットするように要求しません。カードのファイルシステムが ARRI_UDF ではなく、FAT32 や ExFAT 等の場合でも同様です。

SUP アップデート

- **異なる SUP のデータが入った収録メディア**

CFast 2.0 カードに以前の SUP のカメラで撮影したデータが入っている場合、カメラに "Binary clip table is corrupt. Please backup and erase card" というエラーメッセージが表示されることがあります。このメッセージはカードの問題を示すものではありません。カードのデータがすべてバックアップされていることを確認してください。カードを ERASE することでバイナリクリップテーブルが削除され、エラーメッセージは解消されます。すべてのカメラを同じ SUP にアップデートすることでこの問題は回避できます。

- **Time zone/daylight saving time が自動で設定されない**

ソフトウェアアップグレードの後には Time zone/daylight saving time を手動で設定してください。

タイムコード

- **センサーの LTC タイムコード同期に必要なタイムコードジェネレータ**

LTC タイムコード信号でカメラを Genlock するには、精度が高くジッターが少ないジェネレータが必要です。通常の LTC タイムコードソースとしては問題がないデバイスでも、LTC Genlock ソースとしては不十分な場合があります。

- **タイムコードを使用して複数のカメラを同期する**

Timecode Sync と Timecode Mode Regen を使って複数のカメラを同期した場合、プロジェクトレートが 30fps 以上に設定されているとタイムコードが 1 フレームオフセットして表示されることがあります。

アップデート

- **AMIRA 経由では LBUS デバイスはアップデートできない**

LBUS デバイス (Master Grip、cforce モータ、LCUBE) は、EXT-LBUS ケーブルを併用しても AMIRA 経由でアップデートすることはできません。ALEXA Mini/UMC-4/LCS-LBUS ケーブルを併用した WCU-4 を使用するか、ARRI サービスセンターまでご連絡ください。

ユーザビリティ

- **CAP 経由でのフレームグラフ**

再生中のカメラに対して CAP サーバ経由でフレームグラブを行った場合、再生中の映像ではなく、センサーのライブイメージが収録されます。

- **Starlite HD5-ARRI のディスプレイに UI が表示されていない場合**

Starlite HD5-ARRI が CLEAN 表示の SDI 出力に接続されていた場合、タッチインターフェースが有効化いても画面に何も表示されないため、スクリーンの対応した部位に触れると設定を気づかれないまま変更されることがあります。タッチインターフェースが表示されるよう、PROCESSED 表示の SDI 出力に接続してください。

- **カメラでの MPEG-2 再生**

非常に稀に、MPEG-2 クリップの再生が中断されることがあります。速度を変えて早送り再生することでカメラ内部での映像の確認が可能です。データが心配な場合、クリップをコンピュータで再生してください。

- **最新バージョンの EF マウントは SUP 4 で使用できない**

カメラのファームウェアを SUP 4 にしても EF マウントはダウングレードされません。この場合、SUP 5.x にアップグレードされた EF マウントは使用できません。

- **以前のバージョンでのユーザセットアップは SUP 5.0 以降のカメラと互換性がない**

SUP 4.0 以前で作成したユーザセットアップは、SUP 5.0 以降のカメラではロードできません。

- **フレームグラブにミラーイメージのバーティカルフリップは適用されない**

ミラーイメージ使用時でも、フレームグラブにはホリゾンタルフリップしか適用されません。

- **タイムコードモードの Jam Sync と Genlock Sync は併用不可**

タイムコードモードの Jam Sync または Genlock Sync を使用する場合、カメラの内部オシレータはソースクリックに準拠します。そのため、Jam Sync と Genlock Sync を併用することはできません。

- **出力プロセスが“ALEXA Classic 709”に設定されている場合、波形表示は自動的にオフになる**

HDR 撮影中に出力プロセスを“ALEXA Classic 709”に設定すると、波形露光ツールは自動的にオフになり、ユーザボタンと MVF-1 の EXP ボタンは無効化されます。

- **ERASE 中は別のカードには収録不可**

カードの ERASE を行っている間は、別のカードへの収録はできません。同様に、カメラの設定は一切変更できません。

ビューファインダー

- **超低フレームレートでの ZOOM またはサラウンドビュー**

約 5 fps 未満の超低フレームレート撮影時に ZOOM やサラウンドビューの ON/OFFLINE を切り替えると、EVF/モニターの映像が一時的に薄くなることがあります。

- **シリアルナンバー 2150 以前またはアップグレードしていないアイピースの近接センサー**

正しくない角度でビューファインダーに接近した場合、近接センサーが反応せず OLED ディスプレイが表示されない場

合があります。

- **新型 MVF-1 を初めて接続した際のキャリブレーション**

新型 OLED ビューファインダーパネルを搭載した MVF-1 を初めて接続した場合、キャリブレーションが開始されるまで約 10 秒かかります。

D. アップデート手順

ダウンロードおよび登録方法

ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)は下記 URL の ARRI ウェブサイト内 AMIRA DOWNLOAD セクションでダウンロードできます。

<http://www.arri.com/camera/amira/downloads/>

SUP のダウンロードには、お持ちの AMIRA カメラのシリアルナンバーを登録する必要があります。すでに有効なアカウントをお持ちの場合、そちらでアクセスしていただくこともできます。

USB スティックを使用して、以下の方法でカメラに SUP をインストールしてください。

ソフトウェア・アップデート・パッケージの取得

- まだカメラが未登録である場合、下記 URL の ARRI ウェブサイト内 AMIRA DOWNLOAD セクションで“AMIRA Software Update Package x.x (バージョンナンバー)”の“Please -> register to get an account.”をクリックし、AMIRA カスタマーレジストレーションページを開いてください。
<http://www.arri.com/camera/amira/downloads/>
- 必要な項目に入力し、カメラのシリアルナンバーを K1.71700.0-xxxxx という法則で入力してください。また、登録条項をご確認の上ページ末尾で同意してください。
- “Create account”ボタンを押すとアクティベーションリンクを記載した通知メールが自動的に送付され、そのリンクにアクセスするとログイン用の資格情報を含むメールが送付されます。下記 URL からログインし、再度 DOWNLOADS セクションにアクセスしてください。
<http://www.arri.com/login/login>
- SUP ファイルにアクセスすると、ダウンロードに関する規約と条件が表示されるので、内容をご確認の上同意してください。ダウンロードリンクが開きます。

カメラのアップデート方法

AMIRA のソフトウェア・バージョンアップは USB スティックを使って行います。SUP はカメラ本体と、カメラに接続されているビューファインダー (MVF-1)、コントロールパネル (CCP-1)。レンズマウントをアップデートします。

- USB スティックを AMIRA に接続して MENU > Media > Prepare USB medium を選択し、CONFIRM を押すことで、USB スティック内に必要なフォルダー構造が生成されます。
- コンピュータに USB スティックを接続し、ARRI¥AMIRA¥SUP のフォルダーに*.SUP ファイルを配置します。同様に、ARRI¥AMIRA¥LICENSES フォルダーに*.lic ファイルを配置します。
- アップデート中に電源が切れないよう、カメラを安定電源またはフル充電されたバッテリーに接続してください。
- ファクトリーリセットを行います。
- カメラから CFast カードを取り出します。
- USB スティックをカメラに接続し、MENU > System > Update を選択します。
- リストから適切な SUP ファイルを選択し、ジョグホイールを押します。
- メッセージが表示されたら CONFIRM を押し、インストールを開始します。
- アップデート終了後、成功のメッセージが表示されます。

- ・ ウェブリモートでインストールする際にはブラウザのキャッシュを削除してください。新しいファームウェアが正しく表示されないことがあります。
- ・ System Time 設定から正しいタイムゾーンを選択してください。
- ・ SUP にはカメラボディだけではなく、ビューファインダーやレンズマウント用のアップデートファイルが含まれているため、MVF-1 およびレンズマウントをカメラに装着してください。問題のないパフォーマンスを発揮するため、カメラと同時に MVF-1 やレンズマウントをアップデートしてください。
- ・ 以前の SUP バージョンにダウングレードする場合、USB スティックの ARRI¥AMIRA¥LICENSES に現行バージョンと旧バージョンのライセンスファイル (amira_fw_update_aes_x.x.x.lic) を配置します。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社ナックイメージテクノロジー

東京都港区北青山 2-11-3

営業本部 制作営業部

TEL 03-3796-7901 FAX 03-3796-7905

株式会社ナックイメージテクノロジー

東京都港区赤坂 4-13-13

営業本部 レンタル部 / カスタマーサポート部 制作技術 G

TEL 03-3583-7902 FAX 03-3583-7906